

訪問マッサージ技能検定

出題基準

2020年12月

一般財団法人 一枝のゆめ財団

I 医療・介護概論

大項目	中項目	小項目
1. 地域社会と医療・介護	A. 地域社会の現状	a 人口構造の変化 b 少子高齢化の要因 c 高齢化の特徴 d 国民の健康状況
	B. 少子高齢社会の課題	a 要介護高齢者の増加 b 地域・家族の介護力の低下 c 介護負担をめぐる問題
2. 社会保障制度の概要	A. 社会保障制度の理念と枠組み	a 社会保障の理念 b 社会保障制度 c 社会保険の一般
	B. 医療保険制度	a 公的医療保険の種類 b 医療給付（サービス）の種類 c 医療提供体制 d 医療従事者
	C. 公費負担医療	a 公費負担医療の種類 b 公費負担医療の対象
	D. 介護保険制度	a 介護保険制度の概要 b 要支援・要介護認定 c 介護給付の概要
	E. 地域包括ケアシステム	a 地域包括ケアシステムの構成要素 b 地域包括支援センター c 医療と介護の連携
3. 医療倫理	A. 医療倫理の4原則	a 自律尊重原則 b 無危害原則 c 善行原則 d 公正原則
	B. 医療者の倫理	a 患者の権利 b 生命の質(QOL) c ノーマライゼーション d ターミナルケア e 脳死 f 臓器移植 g 尊厳死と安楽死 h 生命倫理に関する諸宣言

Ⅱ. 訪問マッサージ概論

大項目	中項目	小項目
1. 訪問マッサージ業務の基礎	A. 訪問マッサージの概念	a 訪問マッサージの定義 b 地域医療と訪問マッサージ c 訪問マッサージと市場の形成
	B. 訪問マッサージの社会的意義と業務	a 訪問マッサージの社会的意義 b 訪問マッサージの業務範囲 c 訪問マッサージ業務の流れ d 多職種との連携
	C. 訪問マッサージ師と職業倫理	a プロフェッショナリズム b 施術者の倫理
	D. 訪問マッサージ業務と安全・衛生管理	a 有害事象 b 医療過誤とその予防 c 医療過誤の防止対策 d 感染症の予防と対策 e 手指消毒法

Ⅲ. 訪問マッサージ制度論

大項目	中項目	小項目
1. 施術所（訪問マッサージを含む）の業務と療養費支給制度	A. 療養費の支給基準	a 支給対象 b 支給要件 c 対象施術（マッサージ施術／変形徒手矯正術／温電法） d 療養費の額 e 医師の同意と再同意
	B. 受領委任制度	a 受領委任とは b 受領委任契約の意義 c 施術管理者の責務
	C. 適切な保険請求	a 保険請求できる施術の範囲 b 施術報告書の作成 c 支給申請書の作成 d 不正請求事例
2. 病院・診療所業務と診療報酬制度	A. マッサージ業務と診療報酬	a 消炎鎮痛等処置料 b 包括点数制
	B. 理学療法業務と診療報酬	a リハビリテーション料 b あん摩マッサージ指圧師とリハビリテーション料
3. 介護保険業務と介護報酬	A. 機能訓練指導員	a 定義 b 機能訓練指導員の資格要件
	B. 機能訓練指導員と介護報酬	a 個別機能訓練加算（Ⅰ） b 個別機能訓練加算（Ⅱ） c その他の報酬

IV. 人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目
1. 解剖生理学の基礎	A. 人体の体表区分	a 骨性指標 b 体表の筋 c 内臓の体表投影
	B. 細胞	a 細胞の構造と機能 b 細胞膜と物質の移動 c 静止電位と活動電位 d 刺激と興奮 e 興奮の伝導・伝達 f 物質代謝とエネルギー代謝
	C. 組織	a 上皮組織 b 支持組織 c 結合組織 d 筋組織 e 神経組織
2. 系統別構造と機能	A. 運動器系	a 骨の構造と機能 b 骨の連結（関節の種類等） c 筋の構造と機能（筋の興奮，筋の収縮） d 体幹の骨と筋(運動作用含む) e 頭頸部の骨と筋(運動作用含む) f 上肢の骨と筋(運動作用含む) g 下肢の骨と筋(運動作用含む)
	B. 消化器系	a 口腔の構造と機能 b 咽頭の構造と機能 c 食道の構造と機能 d 胃の構造と機能 e 小腸の構造と機能 f 大腸の構造と機能 g 肝臓の構造と機能 h 胆嚢の構造と機能 i 膵臓の構造と機能
	C. 呼吸器系	a 外鼻の構造と機能 b 鼻腔の構造と機能 c 咽頭の構造と機能 d 喉頭の構造と機能 e 気管と気管支の構造と機能

		f 肺の構造と機能
	D. 泌尿・生殖器系	a 腎臓の構造と機能 b 尿管の構造と機能 c 膀胱の構造と機能 d 尿道の構造と機能 e 男性生殖器の構造と機能 f 女性生殖器の構造と機能
	E. 内分泌系と代謝	a 下垂体の構造と機能 b 松果体の構造と機能 c 甲状腺の構造と機能 d 上皮小体の構造と機能 e 副腎の構造と機能 f 膵臓（ランゲルハンス島）の構造と機能 g 精巣・卵巣の構造と機能
	F. 循環器系	a 心臓の構造と機能 b 動脈系の構造と機能 c 静脈系の構造と機能 d リンパ系（脾臓，胸腺を含む）の構造と機能
	G. 神経系	a 神経細胞の構造 b 神経細胞の機能 c 中枢神経系の構成と機能， d 末梢神経系の構成と機能
	H. 感覚器系	a 体性感覚 b 皮膚感覚 c 深部感覚 d 受容器と伝導路 e 内臓感覚 f 臓器感覚 g 特殊感覚
3. 運動学	A. 運動学の基礎	a 骨運動学 b 関節運動学 c 力学の基礎
	B. 姿勢と運動のコントロール	a 重心と重心線 b 異常姿勢 c 脊髄反射 d 姿勢反射
	C. 身体各部の機能	a 脊柱の構造と機能

		<ul style="list-style-type: none"> b 肩甲帯と肩関節の構造と機能 c 肘関節と前腕の構造と機能 d 手関節と手指の構造と機能 e 骨盤と股関節の構造と機能 f 膝関節の構造と機能 g 足関節と足の構造の機能
	D. 歩行	<ul style="list-style-type: none"> a 歩行周期 b 歩行分析 c 異常歩行

V. 訪問マッサージ評価論

大項目	中項目	小項目
1. 診察法の概要	A. 身体計測	a 身長と体重 b BMI
	B. 診察の一般	a 医療面接（視診、問診を含む） b 身体診察（触診、打診、聴診を含む） c 診察の記録
	C. バイタルサインの測定と結果の解釈	a 血圧 b 脈拍 c 呼吸 d 体温 e 意識
2. 障害の評価	A. 障害の概念	a 国際生活機能分類（ICF） b ICF モデル
	B. 身体構造・心身機能の評価	a 四肢長と周径 b 関節可動域検査 c 筋力検査（MMT） d 感覚検査 e 反射検査 f 移動・バランス能の評価 g 協調運動障害（運動失調）の評価 h 認知機能の評価 i 摂食嚥下機能
	C. 日常生活動作（ADL）の評価	a バーセルインデックス（BI） b 機能的自立度評価法（FIM） c 歩行の評価
	D. 参加の評価	a 家族 b 住環境 c 地域環境と職場環境
	E. 合併症の評価	a 廃用症候群 b サルコペニアとロコモティブシンドローム c 褥瘡
	F. 痛みの評価	a NRS とフェイススケール b VAS c 膝痛 d 腰痛

3. 臨床検査	A. 検体検査の概要	a 尿検査 b 糞便検査 c 血液検査 d 生化学検査 肝機能検査 膵機能検査 腎機能検査 糖代謝検査 脂質検査 CRP 検査 e 感染症検査 f 腫瘍マーカー検査
	B. 生理学的検査の概要	a 心電図 b 筋電図 c 脳波 d 呼吸機能検査

VI. 訪問マッサージ臨床論

大項目	中項目	小項目
1. あん摩マッサージ指圧 臨床の基礎	A. あん摩マッサージ指圧 療法の留意点	<ul style="list-style-type: none"> a 高齢者の身体的特徴 b 高齢者の心理的特徴 c 刺激量を決定する因子 d 個体の感受性を決定する要因
	B. あん摩マッサージ指圧 療法の治療効果	<ul style="list-style-type: none"> a 循環改善 b 消炎・鎮痛 c 関節可動域の改善 d 関節機能異常の改善 e 変形の予防と改善（矯正） f 筋力の維持・強化 g 癒し（心理的緩和）
	C. 皮膚科学における皮膚 の機能と触（タッチ）の 効果	<ul style="list-style-type: none"> a 皮膚科学における皮膚の機能 b 触（タッチ）の効果
	D. 一般的な治療法概論	<ul style="list-style-type: none"> a 心理療法 b 薬物療法
	F. あん摩マッサージ指圧 の適応と禁忌	<ul style="list-style-type: none"> a 適応症 b 絶対禁忌症、相対禁忌症
2. あん摩マッサージ指圧 臨床論	A. 主な症候	<ul style="list-style-type: none"> a 全身倦怠 b 頭痛・頭重 c 首・肩のこり d 目の疲れ（眼精疲労を含む）・かすみ e めまい・耳鳴り f 関節の痛み g 上肢の痛みとしびれ h 下肢の痛みとしびれ i 腰痛 j 冷え k のぼせ l 浮腫（むくみ） m 食欲不振 n 月経痛・つわり o 咳と痰 p 頻尿 q 便秘

		<p>r 睡眠障害</p> <p>s 気分障害（うつ状態）</p> <p>t 老年症候群（フレイルを含む）</p>
	B. 主な疾患	<p>a 頸肩腕症候群</p> <p>b 肩関節周囲炎</p> <p>c 変形性膝関節症</p> <p>d 変形性股関節症</p> <p>e 大腿骨頸部骨折</p> <p>f 変形性腰椎症</p> <p>g 腰椎椎間板ヘルニア症</p> <p>h 腰椎椎間関節症</p> <p>i 脊柱管狭窄症</p> <p>j 坐骨神経痛</p> <p>k 関節リウマチ</p> <p>l 脳血管障害</p> <p>m パーキンソン病</p> <p>n 慢性閉塞性肺疾患</p> <p>o 筋萎縮性側索硬化症</p> <p>p 脊髄損傷</p> <p>q 脊髄小脳変性症</p> <p>r 認知機能障害（MCI）・認知症</p>

Ⅶ. 訪問マッサージ技術論

大項目	中項目	小項目
1. 訪問マッサージにおける機能訓練の基礎	A. 変形徒手矯正術	a 関節可動域訓練法 (ROM エクササイズ) b 関節モビライゼーション c ストレッチ法 (PNF ストレッチを含む)
	B. 筋力の維持・増強訓練	a 自動運動 b 自動介助運動 c 抵抗運動
2. 日常生活動作訓練 (ADL 訓練)	A. ADL 訓練の一般	a ADL 訓練の意義 b ADL 訓練の目的
	B. 基本的動作訓練の実際	a 臥位の取らせ方 b 臥位での移動動作 c 寝返り動作 d 起き上がり動作 e 座位保持訓練 f 座位からの立ち上がり g 立位保持訓練 h トランスファー (移乗) i 歩行訓練 j 階段昇降 k 車椅子の操作